1.タイトル

文の組み立てを考えよう

2-1.この授業の目標・意義

主語と述語、修飾語の使い方・組み立て方を理解する

2-2.プログラミング的思考における目標・意義

文の構成を考える上で「組み立ての考え方 」に慣れる

3.授業タイムライン

|  |  |
| --- | --- |
| 指導上の留意点・評価 | 教師の働きかけ |
| ・演習への導入  組み立てを考えることを強調する | 実際に、文の組み立てをやってみましょう |
| ・実際の演習  たくさんのカードを用意して様々な文章が組み合わせによってできることを確認させます  白紙のカードを用意しておいて自由に作成できるカードも同時に配布 | 主語、述語、修飾語をバラバラにしたカード(複数)を各班に配布しテーマを与えて文章を作りましょう  一定時間後各班でできた文章(複数)を発表させましょう |
| ・演習のまとめ  同じテーマ下のもとでも様々な文の組み合わせができること、目的の文を作るために必要な考え方を確認させます | 文の組み立てをテーマのもと自由に作った感想・工夫点を書かせてみましょう |
| ・評価基準  演習への意欲性  テーマの文を作ることができる  組み合わせの考え方を理解できる  ・評価方法  班での発言  できた分の量 |  |

4.演習例

主語(赤のカード):犬が/猫が/お母さんが/ボールが/私は/僕は/etc

述語(青のカード):走る/遊ぶ/勉強する/描く/買う/作る/etc

修飾語(緑のカード):白い/大きい/元気に/etc

上記のカードに加えてそれぞれのカードの白紙ver(自由に語句を作れるカード)を渡し「休日」をテーマに一文作らせる

5.上の演習で使う道具

各色のカード

6.黒板

7.Q&A